

平成 31 (2019)年 1月17日

俳句会 於:ユック

霧氷散る一羽淋しき枝移り

松原智津子

カリヨンの余韻市庁の凍て窓

松原智津子

また一人名簿から消ゆ冬銀河

船矢深雪

初景色ゆれてブラキストンライン

船矢深雪

白鳥になりてフェリーのバスタブに

木宮節子

トーストパン焦げる白いや松明ける

木宮節子

舞う雪のひとひらはらり仕舞かな

山本俊郎

冬晴れに飛行機雲の一笔画

山本俊郎

雪つもる我が故郷の弥彦山

森山圭悦

大雪を出前のように持ってくる

森山圭悦

冬晴れや貫首揮毫災と

伊東次雄

哀歎の月日らぎりて暦果つ

伊東次雄

小正月阪神淡路の忌を灯す

上澤孝二

屯田兵にゆきつくはなし冬の寺

上澤孝二